

「視聴者視点によるNHK評価委員会」評価指標

2010年2月12日

視聴者視点によるNHK評価委員会

1. NHK 評価指標(初年度版)の基本方針

○「放送の信頼性」と「経営の信頼性」の2本柱でNHKを評価する

- ・公共放送としてのNHKは、公共の利益に寄与することを目的に、視聴者からの受信料で放送サービスを提供しており、視聴者からの信頼の上に成立している。この観点から、NHKが視聴者から受ける評価の基本的な価値として、「信頼性」をすえた。
- ・本委員会は、NHK会長の諮問機関として、NHKが提供する放送サービスとそれを支えるNHK全体の活動を評価する。このため、NHKが提供する放送サービスについては「放送の信頼性」、下支えるNHK全体の活動については「経営の信頼性」として評価を行う。

2. NHK 評価指標(初年度版)の構成要素

○「放送の信頼性」の5つの構成要素

- ・「放送の信頼性」の結果を評価する指標として「役に立つ」、「親しまれる」、「社会への貢献」を置き、結果を担保するプロセスの評価指標として、「独立性・公正さ」、「質の高さ」を置く。

- ・「独立性・公正さ」・・・自主自律を守り、多様性、多元性の確保に努めているか
- ・「質の高さ」・・・良質さと高い品位の実現に努めているか
- ・「役に立つ」・・・情報が容易に得られ、生活の中で役に立っているか
- ・「親しまれる」・・・幅広く親しみを持って利用されているか
- ・「社会への貢献」・・・社会の様々な分野の発展に寄与しているか

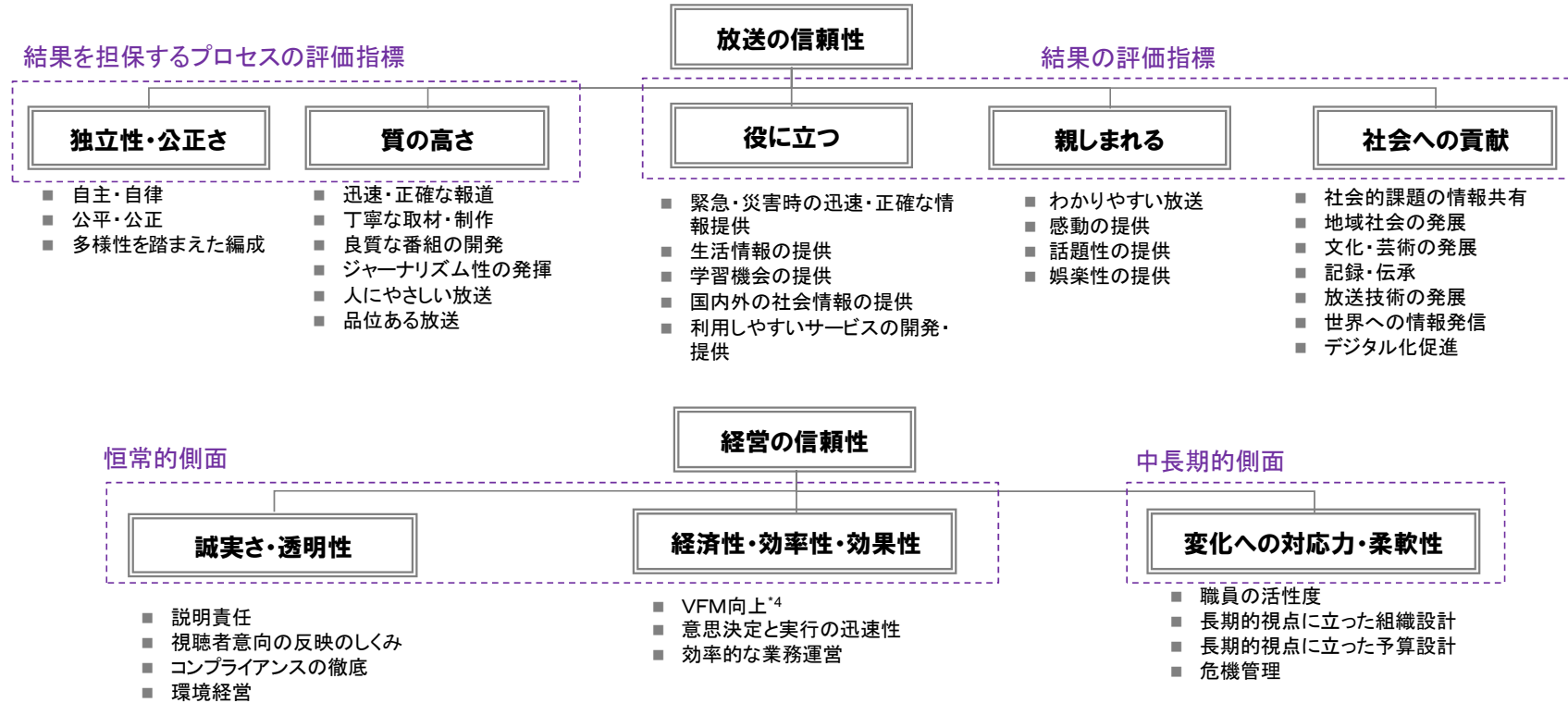
(注) 下線部分は平成22年3月5日に改訂しました。3月8日掲載の改訂版を御覧ください。

○「経営の信頼性」の3つの構成要素

- ・NHKの経営の恒常的な側面を評価する指標として「誠実さ・透明性」、「経済性・効率性・効果性」を置き、中長期的な側面を評価する指標として「変化への対応力・柔軟性」を置く。

- ・「誠実さ・透明性」・・・意見や要望を受け止め、誠実に行動し、説明責任を果たしているか
- ・「経済性・効率性・効果性」・・・より少ない経費で、より多くの成果を挙げているか
- ・「変化への対応力・柔軟性」・・・視聴者の要望や環境の変化に、柔軟に対応する体制やしきみとなっているか

3. NHK の評価指標および評価項目



※1:「放送の信頼性」における「放送」とは、放送番組だけでなく、インターネットやDVD、書籍、キャラクターグッズなど放送に関連したサービスも含む。

※2:上記評価項目は順不同。

※3: NHKが経営2目標に掲げている「NHKへの接触者率」と「受信料の支払率」については、本委員会の評価では、それぞれ、「放送の信頼性」、「経営の信頼性」の評価に用いる。

※4: VFMは、Value for Moneyの略。コストに見合う成果を意味する。NHKの生み出す成果を金額換算した時に、それがコストに見合っているかをはかる指標。

(注) この部分は平成22年3月5日に改訂しました。3月8日掲載の改訂版を御覧ください。

4. 今後の評価活動について

- ・今後、全国視聴者面接調査、有識者調査、職員調査を本委員会でも独自に実施し、評価に用いる基礎情報の収集、分析を行う。
- ・4月以降、評価指標に基づく評価を実施し、6月末に評価報告書としてとりまとめ、公表する。

評価結果のイメージ

